

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	宮城県立視覚支援学校 中学部4名, 高等部普通科4名 計8名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 体育 )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リオオリンピック女子柔道競技の監督幅広い視点での講話や柔道の体験活動を通してオリンピック競技の特色や素晴らしさを知る。</li> <li>・体育施設の見学や運動器具の触察を通して、視覚に障害のある生徒のスポーツに対する興味・関心を広げる。</li> </ul>
5 取組内容	<p>実践1 「オリンピック・パラリンピック種目柔道の講話と実技体験」</p> <p>期日：平成30年1月31日（水） 10：20～11：30 場所：仙台大学 第3体育館 柔道場 講師：リオデジャネイロオリンピック柔道女子監督 仙台大学教授 南條 充寿 氏 女子柔道ハンガリー代表選手2名, 指導者1名 内容：オリンピック、柔道についての講話・柔道の実技体験</p> <p>(1) 講話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「オリンピック」「柔道」について</li> <li>②「目標を持つことの大切さ」</li> <li>③「夢は全ては叶わないが、それに全てをかける価値がある。」 リオオリンピック金メダリスト田知本選手のお話から</li> <li>④「出会いを大切に」</li> </ul> <p>(2) 実技体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①礼法について</li> <li>②受け身の取り方</li> </ul>



	<p>実践2 「体操競技施設の触察体験」</p> <p>期日：平成30年1月31日（水） 11：40～12：30</p> <p>場所：仙台大学 第3体育館 体操競技場</p> <p>講師：仙台大学体操競技部監督 講師 鈴木 良太 氏</p> <p>内容：体操競技施設の紹介と体操器具の触察体験</p> <p>①施設や体操競技種目の紹介。</p> <p>②器具の使い方や演技の方法等の解説や体験。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>①オリンピックを経験している指導者から話を聞いたり、現役の選手から直接指導していただいたことで生徒のオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まった。</p> <p>②事前学習で説明はしていたが、実際に体験したり、選手が受け身を取った時の音を聞くことで競技の迫力を感じたり、競技の理解につながった。</p> <p>③体操器具の触察や体験をとおして競技についてイメージすることができた。</p> <p>〈生徒の感想 抜粋〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田知本選手の「夢は全て叶わないがそれに全てをかける価値がある。」という言葉聞いて、何か目標に向かって努力することは大切なのだと感じました。</li> <li>・柔道体験では直接ハンガリーの選手から受け身の指導をしていただいて、見るだけでは分からなかった柔道の動きを知ることができました。</li> <li>・体操競技では色々体験しましたが、筋力が少なく、全く体操選手のように格好良く決めることができませんでした。</li> <li>・この一日の体験からオリンピックへの興味が強くなり、平昌オリンピックで選手を応援したいと思いました。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が直接訪問して専用の施設で専門の先生方から話を聞いたり、体験したりすることで競技の理解、生徒の興味・関心の向上につながった。</li> <li>・視覚を使って情報を得ることが難しいため、器具の触察や実際に体験することを中心に活動させていただき、競技の理解、生徒の興味・関心の向上につながった。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師依頼の事前交渉と同時に学年・学級の時間調整、教員の配置を校内で共通理解を図りながら進めていく必要がある。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラリンピックに向けたイベント等に積極的に参加し、オリンピック・パラリンピックをより身近のものにしていきたい。</li> <li>・本校にゆかりのあるパラリンピック経験者にも協力をいただいて体験活動等を実施していきたい。</li> </ul>